

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の特徴	同法人は、「横浜の大地に住まう人々の、生活障害の軽減を支援する願い」を持って事業活動を進め、市内全域で介護分野の全ての形態の事業を展開し、100ヶ所を超える事業所を運営しています。「ひなげし」はご利用者にとって、いつでも通えて泊まれる『近所にあるもう一つの家』と置いていただける施設でありたい。また、介護職員、看護職員が連携してご利用者様を見守る目と支える手として機能したいと考えています。
事業所名 (南区)	小規模多機能型居宅介護 ひなげし	管理者	土屋 由太		

出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			1人	1人		1人		1人		4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所目標に対する個人目標を設定しミーティングやヒヤリングで進捗の確認や共有をしていく。	事業所目標は毎月の職員会議で進捗を確認しながら活動出来た、個人目標の確認は毎月進捗の確認が出来なかった。	事業所の自己評価が出来ている。内容で出来てない項目を減らす取り組みを期待している。	自己評価項目の『できていない』を減らす。
B. 事業所のしつらえ・環境	委員会メンバーを中心に環境整備を継続していく。外部からの人の受け入れを意識し取り組んで行く。	委員会メンバー発信で環境整備出来た。ボランティアさんなどの受け入れを増やしたことで環境整備をより意識するようになった。	鍵も掛かってなくインターホン無しでも入ることが出来ている。	委員会メンバーを中心に環境整備を継続していく。外部からの人の受け入れを意識し取り組んで行く。
C. 事業所と地域のかかわり	外出の機会を増やすし地域のイベントにも参加する。	利用者様に楽しんでいただく為の外出が増えた。地域のイベントには少ししか参加出来なかった。	地域の方主催のサロン等に参加するのも良いのではないかな。	季節ごとに季節を感じられる外出をする。地域のイベントに参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	住み慣れた地域でより長く暮らせる支援を地域の人を交えて実践していく。	住み慣れた地域でより長く暮らせるよう支援しているが地域の人を交えられた機会が少なかった。	介護保険サービス導入後もケアプラザ等で実施しているサロンやインフォーマル支援も継続出来ると良いと思う。	利用者様が事業所内だけの交流でなく地域の方と交流出来る支援をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で事業所の活動を紹介し意見を運営に活かしていく。	運営推進会議でいただいた意見は職員会議で共有出来た。	活動内容は伝わってきている。事業所の特色を活かした支援を継続してほしい。	運営推進会議にて事業所の活動内容、特色を紹介していく。地域からの意見をいただき運営に活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時に生きる計画と訓練を実施する。	計画の作成と訓練は定期的実施出来ている。地域の防災訓練に参加出来ていない。	地域の防災訓練に参加してみてください。	地域の方と共に災害対策を考えていく。